

洲本市都市計画マスタープラン（素案）及び洲本市立地適正化計画（素案）

に対するパブリックコメント実施結果

- ・ 実施期間 … 令和3年12月28日（火）～令和4年1月27日（木）
- ・ 周知方法 … 市HP、広報1月号
- ・ 提出者数 … 1名
- ・ 提出件数 … 12件

※その他対象外の意見・・・1件

※ご意見等については、計画内容の記載順に並べ替えております。

■洲本市都市計画マスタープラン（素案）に対する意見

番号	頁・行	該当箇所	ご意見等	市の考え方	素案の修正
1	5頁	■洲本市の合併沿革	地図で「潮村」が抜けています	ご指摘いただいた、地図で「潮村」が抜けているという意見ですが、ご指摘どおり修正させていただくとして、地図中に「潮村」を追記させていただきます。	P5:■洲本市の合併沿革の図中に 潮村 を追記させていただきます。
2	20頁	2) 交通	かつて淡路交通山手線が走っていた（一）上内膳塩尾線沿線も公共交通がありませんし、元々公共交通機関が無い一般県道もあります	ご提案いただいた、かつて淡路交通山手線が走っていた（一）上内膳塩尾線沿線も公共交通がありませんし、元々公共交通機関が無い一般県道もあります、というご意見ですが、公共交通の空白地につきましては、令和2年3月に策定された洲本市地域公共交通基本計画（後期）で、大野・鮎屋地域、千草地域、中川原・安乎地域において確認されておりますが、本計画においては、人口集積地の検証とあわせて記載しており、P22の■バス路線のカバー圏の図においても記載しているとおり、人口が集積している地域での公共交通空白地として整理し記載しております。	修正なし
3	45頁	■生活拠点	地元で公民館がなく、隣接する公民館から大きく離れている上灘地区は「洲本市役所上灘出張所」を生活拠点と位置付けるべき。	ご提案いただいた、地元で公民館がなく、隣接する公民館から大きく離れている上灘地区は「洲本市役所上灘出張所」を生活拠点と位置付けるべき、というご意見ですが、地域コミュニティを維持していくという観点から、ご意見を踏まえて修正させていただきます。	P45■将来都市構造図に上灘出張所を生活拠点として記載するにあわせて、南あわじ市まで都市間連携軸を記載。 P47■生活拠点の項目で「上記以外の地区に立地する公民館は、」を「上記以外の地区に立地する公民館又は出張所は、」へ修正 P48■拠点と軸の具体箇所一覧の生活拠点の「上記以外の地区に立地する公民館」を「上記以外の地区に立地する公民館又は出張所」へ修正 P51■土地利用方針図の上灘出張所の区域に生活利便ゾーンを記載することとして修正
4	68頁	(5) 地域の課題	安乎地区の沿岸部は平安浦交差点から淡路市境にかけての海沿いに観光リゾート施設がありますが、それ以外の市北部地域ではこのような施設が無いようです。	いただいたご意見については、貴重な意見として参考にさせていただきます。	修正なし

5	69頁	2) 道路・公共交通の方針	<p>淡路交通山手線が廃止以降、公共交通の空白地帯が拡大していますので、コミバスの運行でカバーが必要。市北部の「淡路島中央SIC」及び「本四安乎」停留所は高速バスの停車本数が津名一宮IC以北及び洲本IC以南に比べて少なく（特に三宮発着路線の停車は他停留所に比べて大幅に少なく、四国方面発着路線の停車は無し）利便性が悪いため、停車本数の増加が出来るかが課題。また、淡路島中央SICの高速バス利用駐車場付近に、「淡路島中央SIC前」（仮称）バス停留所を新設、淡路交通都志線と五色地域コミバスを停車させ、高速バスと乗り換えできるようにしてほしい。</p>	<p>いただいたご意見については、貴重な意見として参考にさせていただきます。</p>	修正なし
6	76頁	2) 道路・公共交通の方針	<p>洲本市街地とその周辺も公共交通空白地が多くあるので、内環状道路及び外環状道路を循環するコミバス路線があって良いと思います。淡路交通の「洲本」バス停を西行き・東行き共に洲本市役所前に停車するように改善できないか（その際、停留所名を「洲本市役所前」に変更）？</p>	<p>いただいたご意見については、貴重な意見として参考にさせていただきます。</p>	修正なし
7	76頁	2) 道路・公共交通の方針	<p>洲本港が玄関口としての役割は、明石海峡大橋の開通で洲本港から洲本IC（後の淡路島中央SICも）へ玄関口が変わったことで終わったと思われる。現に神戸・大阪方面への航路は明石海峡大橋開通後2度（洲本パールライン・淡路関空ライン）失敗して、将来3度目の航路再開も失敗に終わりそうな気がします。深日方面も現時点では航路再開は不透明です。船は陸路の災害時の海上輸送の確保や渋滞の心配が無いメリットがある一方、コスト（維持費・人件費・燃料費など）が掛かる。スピードが陸路より遅い（船はスピードが上がるほど、水の抵抗で燃費が悪くなる）、大型船だと水の抵抗で燃費が悪く、小型船だと少しの荒波でも欠航というデメリットがあります。</p>	<p>いただいたご意見については、貴重な意見として参考にさせていただきます。</p>	修正なし
8	83頁	(5) 地域の課題	<p>太平洋新国土軸の一角である紀淡連絡道路が頓挫（由良港から紀淡海峡の対岸である和歌山市加太港まで紀淡海峡を横断する航路などの交通機関も無し）していることから、太平洋新国土軸が紀淡海峡で途切れ、島南東部（紀淡海峡）の玄関口としての機能が果たして居らず、地区全体が衰退傾向であることを追記してほしい。</p>	<p>ご提案いただいた、太平洋新国土軸の一角である紀淡連絡道路が頓挫（由良港から紀淡海峡の対岸である和歌山市加太港まで紀淡海峡を横断する航路などの交通機関も無し）していることから、太平洋新国土軸が紀淡海峡で途切れ、島南東部（紀淡海峡）の玄関口としての機能が果たして居らず、地区全体が衰退傾向であることを追記してほしい。という意見ですが、現在も太平洋新国土軸の一角として、太平洋新国土軸を形成する海峡横断プロジェクトの紀淡海峡ルートとして、道路軸を紀淡海峡連絡道路が担っており、鉄道軸と合わせ、国、県においても「21世紀の国土のグランドデザイン」における位置づけを踏まえて、その推進に取り組んでおります。</p>	<p>P52 (2) 道路の整備方針 1) 主要幹線道路 ・紀淡海峡道路の開通に向けて、兵庫県、大阪府、和歌山県の関係市町で構成する「紀淡連絡道路実現期成同盟会」で、その実現に向け引き続き国等へ要望を行ってまいります。と記載</p>

9	84頁	1) 土地利用の方針	<p>エトワール生石の活用方法ですが、この周辺一帯を淡路島南東部・紀淡海峡の交通観光拠点としても良いかもしれませんね。コミバス上灘沼島線をエトワール生石前に経由・停車、エトワール生石周辺に道の駅（明石海峡・鳴門海峡付近に道の駅があっても紀淡海峡付近に道の駅が無い）・海の駅・海水浴場などを新設、生石栈橋からは成ヶ島だけでなく、友ヶ島や紀淡海峡対岸の加太港へ船を運航（友ヶ島・加太港から輪行可能な小型船を使用してエトワール生石へ直接行き来できるようにする）させても良いのでは。</p>	<p>いただいたご意見については、貴重な意見として参考にさせていただきます。</p>	修正なし
10	84頁	2) 道路・公共交通の方針	<p>（主）洲本灘賀集線が主要地方道でありながら、由良中学校付近から南あわじ市境にかけて道幅が狭く見通しも悪いため、2車線に道路拡幅が出来ないか。また、（主）洲本灘賀集線が大雨・越波などの災害で通行止めになった際に上灘地区が孤立化しないように、また洲本ICから上灘地区へのアクセス改善から補助幹線である（一）相川下清水線及び（一）畑田組栄町線の全線開通を目指してほしい。</p>	<p>ご指摘いただいている道路については、主要地方道及び一般県道として、良好な交通が行えるよう道路管理者が管理することとなっており、ご指摘の一般県道については、県の方でも、車両通行不能区間が存在していることも把握しておりますが、現在、整備計画等の予定がございません。しかしながら、災害に強い安全な道路、地域の暮らしを支援する道路として関係機関への要望等取り組んでまいります。</p>	修正なし

■洲本市立地適正化計画（素案）に対する意見

番号	頁・行	該当箇所	ご意見等	市の考え方	素案の修正
1	33頁	■拠点の配置「生活拠点」	<p>地元で公民館が無く、隣接する公民館から大きく離れている上灘地区は「洲本市役所上灘出張所」を生活拠点と位置付けるべき。</p>	<p>ご提案いただいた、地元で公民館が無く、隣接する公民館から大きく離れている上灘地区は「洲本市役所上灘出張所」を生活拠点と位置付けるべき、というご意見ですが、地域コミュニティを維持していくという観点から、ご意見を踏まえて修正させていただきます。</p>	<p>P35「生活拠点」に記載している、各地区の公民館を「生活拠点」とします。を各地区の公民館又は出張所を「生活拠点」とします。 へ修正 P36■目指すべき都市の骨格構造に上灘を記載するにあわせて、南あわじ市まで都市間連携軸を、上灘まで集落連携軸を記載することとして修正</p>
2	34頁	■軸の設定	<p>洲本市内の主要地方道及び一般県道を一つの集落で完結する一般県道都志港線を除く全線を集落連携軸として掲載する必要があるのではないかと思えます。 それを踏まえて下図の地図も見直しが必要です。 ・安乎-鮎原間に一般県道安乎鮎原線を示す緑の破線追加 ・千草から上灘へ一般県道相川下清水線を示す緑の破線の追加 ・大野から上灘へ一般県道畑田組栄町線を示す緑の破線の追加 ・由良から上灘へ主要地方道洲本灘賀集線を示す緑の破線を追加 ・大野の左側にある「至」は何か？ など</p>	<p>ご提案いただいた、洲本市内の主要地方道及び一般県道を一つの集落で完結する一般県道都志港線を除く全線を集落連携軸として掲載する必要があるのではないか、それを踏まえて下図の地図も見直しが必要です。というご意見ですが、集落連携軸については、地域コミュニティの維持や市内移動の補完を図ります。という点から、意見を踏まえて修正させていただきます。</p>	<p>P36■目指すべき都市の骨格構造に ・安乎-鮎原間に一般県道安乎鮎原線を示す緑の破線追加 ・千草-上灘間に一般県道相川下清水線を示す緑の破線の追加 ・由良-上灘間に主要地方道洲本灘賀集線を示す緑の破線を追加 ・広域中心拠点-大野間に一般県道広田洲本線を示す緑の破線を追加 図中「至」の記載を削除 あわせて ■軸の設定の集落連携軸に一般県道安乎鮎原線、一般県道下内膳物部線、一般県道洲本松帆線、一般県道広田洲本線を追加することとして修正</p>